

土の中から出てきた“女尻”

さっきまで降っていた雨か、

はたまた湿気によって噴き出た汗か、

水滴がにじむムッチムチの弾力抜群のお尻に

むしゃぶりつく男

「うふああああああああああつっ……もうダメだあつ……」

湿った空気。

小雨でもなければ土砂降りとも言えない、微妙な勢いで降って来る雨に汚れた服を濡らしながら、シゲルは足を止めてしゃがみこんだ。

仕事を辞めて半ば自暴自棄。

抜け出せなくなってしまったパチスロと手を出してしまった借金。

負のスパイラルは数ヶ月にわたって続き、気が付けば借金取りの大男に怒鳴り散らされ、追われる日々。

ついにマンションにはいられなくなり、命からがら近くの川辺まで逃げ出してきたのだ。

「もう何をしてもダメなんだああああつっ！！」

深刻な目つきで自らの終わりを悟りかけたその時！！

ニュクニュクニュクニュクツツツ！！！！

「うへえっ！！」

河川敷の芝生が少し禿げ上がり橙色の土が見えている部分から、何かが盛り上がるように地上へ出てきたではないかっっ！！

目を見張り、はじめはひたすら恐怖におののいていたシゲルだったが・・・。

その見開いた目が

“キラキラキラッ！！”

まるで瞳孔に大量の流れ星が流れたように輝いた。

なぜならば・・・。

「あたしはお尻よっ！！お尻なのおおっ！！」

！！！！女尻！！！！

土の中から声がする。いや、その肉物体が話しているのか・・・。

だとしたら発声元はどこなのか・・・？

・・・どうであれ、ひとまずそういったことは置いておいて。

土の中から出てきたその物体は、

シゲルの目を輝かせずにはいられない程の・・・。

“女尻”

だったのだ。

「あなたがもっと“真っ当”に生きられるように、あたしは天に使え、土の中という地味い～～～な場所からやってきたのよ」

丁度太ももの尻側から見て3分の1くらいまでがミュクミュクツツと地面から生えてきており、その真っ白くて比較的大きめ、そして見た目だけでもブリンブリンツの弾力が分かる張りのある女尻は、女にまるで縁のないシゲルを誘うかのようにこちらを向いている。

(こちらを向く・・・つまりお尻から見て正面(割れ目の方が前))

体験版はここまでです。

もし内容を気に入っていただけましたら、

続きを製品版でお楽しみいただけますと光栄です。